

才能
教育

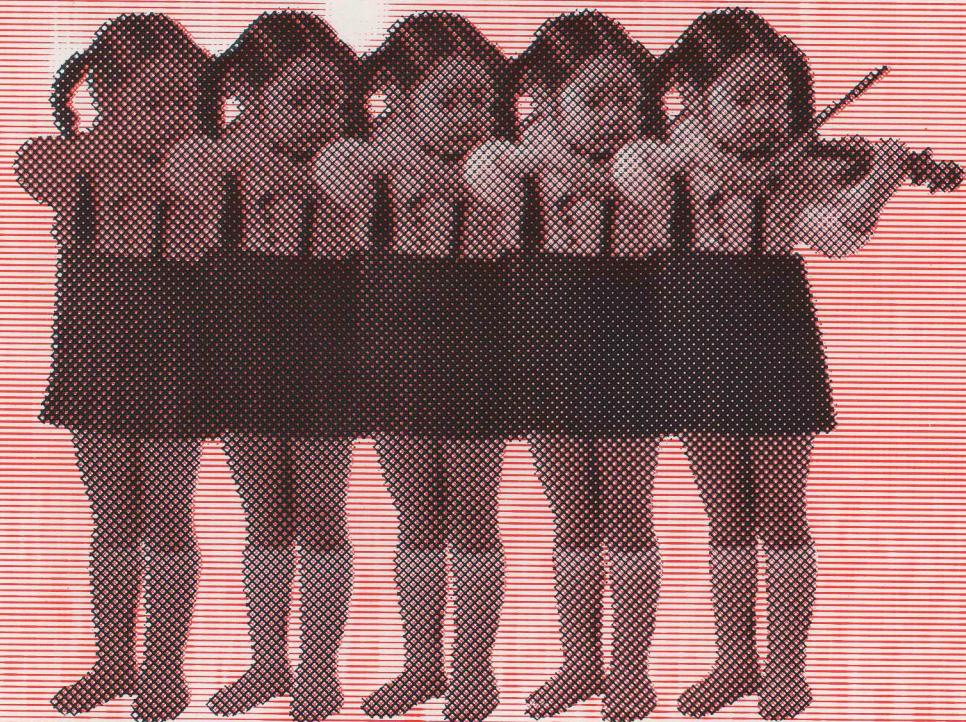
TALENT EDUCATION 才能教育

第15回全国大会
第17回卒業式

日本武道館・東京九段

昭和44年3月30日(日)午後1時30分

NIPPON BUDOKAN, KUDAN, TOKYO
MARCH 30, 1969 1:30PM



主催・才能教育研究会



ごあいさつ

会長 鈴木鎮一
PRESIDENT = MR. S. SUZUKI

本日は、全国大会にご光来いたゞき誠にありがとうございました。この大会は極めて重大な意義をもった人間開発の教育社会運動の一つとしてご覧いただければうれしい存じます。

幼児をすぐおけば駄目になる！

即ち、どの子供も苗のうちから正しくよく育てれば、皆、極めて有能な人間として育ってゆく可能性をもって生れていることを実証し、第二には、才能は生れつきではなくして、生れた後の教育によって育てられるものであるとの実証運動もあります。音楽の場合も、どの子供でも、幼い時からの育て方で、音痴の人間に育てるこも出来ると同様に又その逆に、優れた音楽的な能力を、どの子供にも育てることが出来るということを実証する大会でもあります。すでに二十数年に亘る実証運動です。そして又、教育法の革命!! の子供にしても正しく育てれば優れた能力の人となり得るその新しい教育法——才能教育法——の実証運動でもあるのです。但しこの才能教育法が今日行なわれているのは今のところ全国各地の才能教育支部の教室に限られていますが。

× ×

本日は全国各地の支部から集まつた二千名近くの幼い子供達が、リハーサルなしで、ぶつけ本番での大合奏を致すわけでございます。旧い昔からの教育法——今日一般に行なわれている教育法を一日も早く改めて、「どの子も育つ教育法」の行なわれる時代、そしてどの子供も能力が開発される時代をつくろうと希う私共の悲願のその一つの実証としてこゝにバイオリンで育てられた幼い子供達の優れたその可能性を、ご覧いたゞきたいと存じます。

母国語の教育法——日本中の又世界中の子供達が立派にそれぞれに育てられている言語の才能（能力）………その教育法から才能教育法が生まれました。思いがけないところにどの子供も育つ教育法があるのでした

× ×

全く新しい眼で幼い子供達を眺め、そしてこの新しい教育法によつて育てた私の三十数年間の経験から、今日私の思うことは、幼い子供達の育つその可能性の高さは、まだこんな程度ではなくて、もっともっと高い能力の人間に育てることが出来る、ということです。人の子に与えられているすばらしい教育の可能性をもっともっと發揮させることについては、私共は大いに之から探究しなければならないことを痛感しています。

× ×

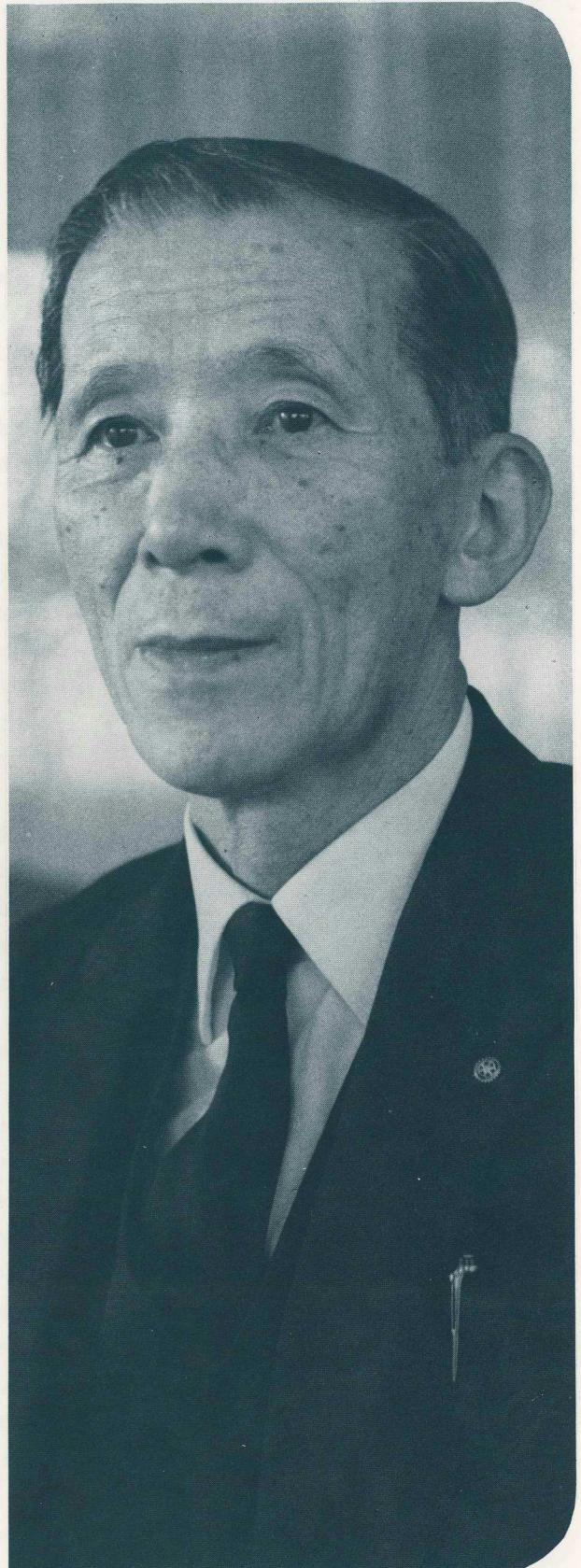
今日の社会では、自分達が、育てそこねておき乍ら、子供達の能力がよく育つてこないときには、それはその子供の生れつきのせいにしてしまっているのです。

何という情けないことでしょうか。

人の子のその高い教育の可能性について考えず、自分達の失敗について反省することなく、みな子供達の生れつきのせいにしてしまっている人類社会の今日の誤った常識を、一日も早く訂正しない限り、人の子の正しく育てられる時代はやってこないことは明らかであります。

× ×

貴方が、今日の二千人の幼い子供達の大演奏の姿を眺めて下さって、それが単なる音乐会としてではなく、天の声、大自然の中に輝く人類の明日への光明の一灯として御感じいただきけるならば、私共としては何よりもうれしいこと、存じます。





♪ プログラム

開会の辞 大会委員長 本多正明
 挨拶 会長 鈴木鎮一
 卒業証書授与
 お祝いの言葉 名誉会長 徳川義親
 卒業生の演奏 ルーレ バッハ
 (卒業生退場)

バイオリン合奏

- 1 協奏曲 第5番 第1楽章 モーツアルト
- 2 協奏曲 イ短調 第1楽章 バッハ
- 3 ソナタ 第4番 第1楽章 ヘンデル
- 4 アレグロ フィオッコ
- 5 二つのバイオリンの為の協奏曲 第1楽章 バッハ
- 6 協奏曲 イ短調 第1楽章 ビバルディ

セロ合奏

- a キラキラ星変奏曲 鈴木鎮一編
- b かすみか雲か ドイツ民謡
- c 無窮動 鈴木鎮一
- d 白鳥 サン・サーンス

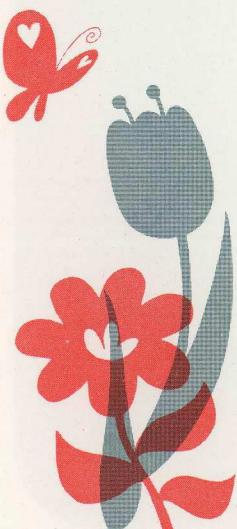
合奏協奏曲 ニ短調 第1楽章 ビバルディ

バイオリン合奏

- 7 メヌエット バッハ
- 8 メヌエット ポッケリーニ
- 9 ブーレ ヘンデル
- 10 メヌエット 2番 バッハ
- 11 無窮動 鈴木鎮一
- 12 アレグロ 鈴木鎮一
- 13 こぎつね ドイツ民謡
- 14 蝶々 スペイン民謡
- 15 キラキラ星変奏曲 鈴木鎮一編

全員合唱と合奏

螢の光 スコットランド民謡



♪ PROGRAM

Greeting Chairman M. Honda
 Address President S. Suzuki
 Graduation Ceremony
 Words of Congratulation Hon. President Y. Tokugawa
 Performance by Graduates
 Loure Bach

Violin

- 1 Concerto No. 4 1st mov. Mozart
- 2 Concerto a min. 1st mov. Bach
- 3 Sonata No. 4 1st mov. Händel
- 4 Allegro Fiocco
- 5 Concerto d min. 1st mov. for Two Violins Bach
- 6 Concerto a min. 1st mov. Vivaldi

Cello

- a Twinkle, twinkle little Star-Variations arr by S. Suzuki
- b Mailied German Folk Song
- c Perpetuum Mobile S. Suzuki
- d The swan Saint-Säens

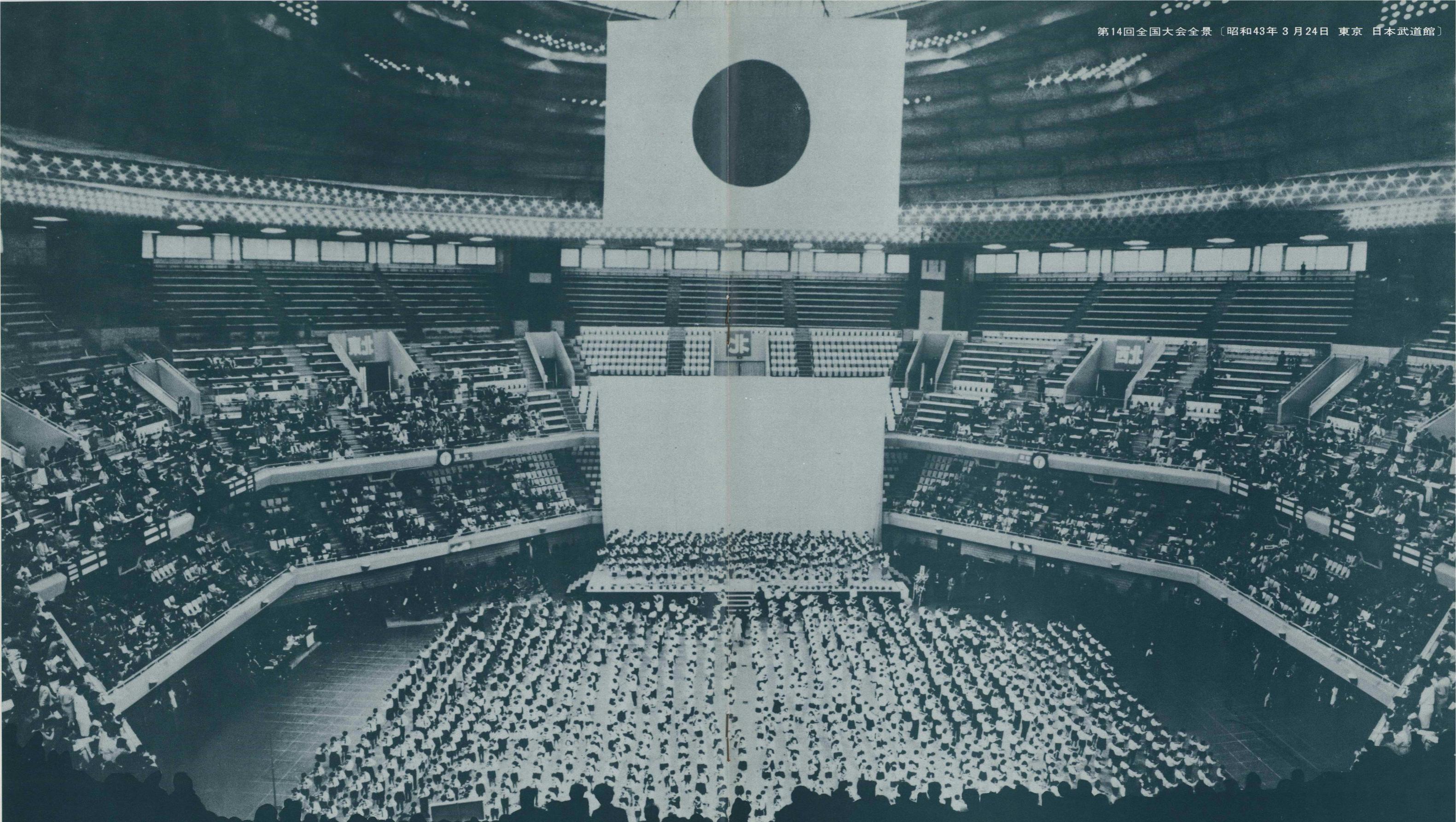
Concerto for Two Violins 1st mov. Vivaldi

Violin

- 7 Menuetto Bach
- 8 Menuetto Boccherini
- 9 Bourrée Händel
- 10 Menuetto No. 2 Bach
- 11 Perpetuum Mobile S. Suzuki
- 12 Allegro S. Suzuki
- 13 Warnung German Folk Song
- 14 Papillon Spanish Folk Song
- 15 Twinkle, twinkle little Star-Variations arr. by S. Suzuki

Auld Lang Syne Scotland Folk Song





才能教育によせて

井 深 大

人間は幾才の時に何を学んだら一番能率がよいだろうか、今の教育制度ははたして此の事を考慮にいれた上で決められているものであろうかということが私の年来の大きな疑問であります。

此の疑問に対して誰からも満足な答は与えられませんでしたが、たった一つの例外は鈴木鎮一先生の鈴木メソードであります。

昨年の8月米国の音楽の先生方が60名余りも来日し、鈴木先生のところで勉強をして帰って行きました。また鈴木先生の

ところで才能教育を受けた豆演奏者たちは、毎年米国へ演奏旅行に行って大成功をおさめています。

此の才能教育全国大会では2000人の実験を目のあたりに、聴いたり見たりしていただけなのです。この2000人は生まれつき特別の才能をもった選ばれた子供達では決してなく、みんな普通の子供達で、たゞその持っている能力が充分開発された人達なのであります。

子供の幸福を願わない親はない筈です。その幸福のために幼稚教育は早すぎるということはない、という実証をみていた

だきたいのです。そして、そのことは音楽の世界だけではありません。音楽はその一例なのです。

皆様方のお子さんのために1人でも多くの方が参加して下さることを切望してやみません。

(ソニー社長)

昭和28年から昭和43年（第1回～第16回卒業式）における各科卒業生の累計

	卒業曲目	期間	卒業生数	卒業時の年令 全体の約80%部分
初等科	ルーレ (バッハ) 鈴木鎮一指導曲集 3巻終了	3年間	1620名	7才～9才 小2～小4
中等科	協奏曲ト短調 第1楽章(ビバルディ) 同上 5巻終了	16年間	4741名	9才～13才 小4～中2
高等科	協奏曲イ短調 全楽章 (バッハ) 同上 7巻終了	15年間	1970名	10才～14才 小5～中3
研究科	協奏曲 第4番 全楽章 (モーツアルト) 同上 10巻終了	15年間	824名	13才～17才 中2～高3